

祇園小学校 校長だより（第80号） 令和2年度第21号 令和3年2月1日

校訓 「高い理想 清い心 熱い想い」 文責 校長 中原弘之

学校教育目標 「学校と地域を愛し、知・徳・体の調和のとれた児童の育成」

早寝、早起きで清々しい朝を

特に寒い季節は、布団から出たくないものですが、起きて着替え、顔を洗っているうちにだんだんと調子が出てくるものです。1日の始まりの朝を清々しく迎え、しっかり朝食を食べ、余裕を持って1日を過ごしたいものです。日の出の時刻も徐々に早くなってきました。寒さに負けず、朝日を浴びながら登校してくる子どもたちも清々しく感じています。

1月2日付け文書で保護者の皆様にはお知らせしたとおり、4月からは今年度の日課を10分早めます。現在の登校時間（学校へ着く時間）のめやすは、7時50分から8時15分（8時30分始業）ですが、4月からは、7時40分から8時05分（8時20分始業）となります。早寝、早起きの習慣を身に付けさせ、余裕を持って1日の始まりを過ごすことができるよう、各家庭でもご配慮ください。

食べてからだづくり

1月24日から30日は、全国学校給食週間でした。毎月の学校給食予定献立表にあるように、学校給食は、①体をつくるもとになるもの（魚や肉、牛乳など）、②体の調子を整えるもの（野菜や果物など）、③熱や力になるもの（米やパン、油など）の3つの栄養群をバランスよく取り入れながら作られています。一食あたり230円と安価なのは、主に食材費だけを負担してもらっているからです。給食設備や調理士の人件費などは市が負担しています。毎年度、3月の給食費は年間の給食費調整額となりますが、今年度は野菜などが高かった時期もあり、例年より少し高くなるかもしれません。詳細は、後日文書にてお知らせいたします。気温や降水量、取れ高、輸入状況などにより食材費は変動します。世の中の動きが給食費や献立などにも影響してきます。また、時代の変化と共に給食の内容も変化しています。給食は時代を映す鏡といっても過言ではないでしょう。

子どもたちには、バランスの取れた給食を食べ、病気にかかりにくいたくましいからだをつくってほしいと願っています。

祇園歴史の旅（その80）「まどか教室の歩み」

まどか教室要覧によると、まどか教室は、「本来持っている力を十分伸ばしきれていない児童に対して、適切な環境の中で適切な指導を行うことでその状態・程度を改善し、学校生活、社会生活への適応を高め、より豊かな人間性の発達を図る」ことを目標に、通級による指導を行っている教室です。市内には、本校のほかに、黒髪小学校と皆瀬小学校にまどか教室があります。本校のまどか教室は、本校の他に天神・港・福石・木風・潮見・白南風・小佐世保・山手・宇久・春日・清水・大久保・金比良・赤崎・船越の各小学校が担当校となります。

昭和47年3月旧光園小学校内に設置決定、同9月当時の辻教育長により児童の心がまろやかに育つようにという意味で「まどか教室」と命名、同10月開級式挙行、昭和57年3月新築落成の歩みを経て、平成13年4月戸尾小と光園小の統合により祇園小まどか教室として開級しました。今年度で創立48周年となる歴史と伝統のある通級指導教室です。本市の黒髪小まどか教室は平成14年4月、皆瀬小まどか教室は平成18年4月に開設され、共に本市の特別支援教育、通級指導教室を支えています。

今回は、「20周年の祇園小（勝手に未来予想）」と題して、祇園小学校の今後を期待することを述べてみます…。